

市政に対する

一般質問

11名の議員が質問

12月定例会の一般質問は、
12月13日に行われました。
質問の要旨は次のとおりです。

沼倉 昭仁

中高一貫教育による少子化対策のまちづくり 他

菅野 浩一

白石の農業の現状と農業集落について 他

山田 裕一

広告等での歳入の考えについて 他

管野 恭子

視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業の積極的導入について

水落 孝子

財政基盤の確立にむけたまちづくりについて 他

吉田 貞子

雇用の確保と創出について

四竈 英夫

市内の交通事情に対応した安全対策について 他

沼倉 啓介

今後の本市の取るべき方向付けについて

制野 敬一

中山間地域等直接支払制度の継続について

大野 栄光

市の基盤産業である農業を、どう活性化するか

佐久間 儀郎

介護予防センターの運営体制について 他

中高一貫教育による少子化対策の

まちづくり

沼 倉 昭 仁

〔質問〕平成22年度から、宮城県の公立高校入試においても学区制が完全撤廃されることになった。

公立高校の統廃合により、優秀な生徒の仙台一極集中や地方の高校の定員割れなどの懸念が現実問題となっている。

白石高校、白石女子高の統合にあわせて、中学と高校の

6年間の継続的な教育指導を行う公立中高一貫教育を整えることにより、白石の次の世代を担う子どもたちを育成し

定着させるためのビジョンが求められていると思うが、いかがか。

その他の質問

○「官民連携によるコンパクトなまちづくり」について

〔答弁〕〔教育長〕成長期真っ

ただ中にある中学・高校時代を過度な受験準備だけに追われることなく、自然な形での教育環境をつくる中高一貫教育の制度は意義があるとは思

う。しかし、中学校、高等学校と6年間を見通した一貫性のある教育課程をつくる

ところ、多くの課題が出てくる。

白石高校と白石女子高の統合に関して、新たな高校をどうつくるかということで準備が進められており、両校の

歴史、伝統、文化を継承しながら発展させていく方向で、建学の精神が打ち立てられている。

新しい統合校の基本構想は、これを基盤にするように進んでおり、校訓策定まで終わっているが、その中に、中高一貫教育を目指すことは含まれていない。これが一つの理由である。

また、同校には市内外の多くの中学校から生徒が入学しており、市内1校だけを中高一貫教育校に指定するということは、バランスの面から課

題が出てくる。

その理由は、県立学校と公立の義務教育の中学校では考え方に大きな違いがあり、教育計画作成等に相当な時間がかかるからである。

よって、本市において、中高一貫教育導入については時期尚早と考えている。

